

事業所名：グループホームやよい

作成日：令和 2年 12月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	当施設の理念はパンフレットにも記載されている。「住みなれた地域での生活、通い慣れた商店街での買い物とその人らしい暮らしの実現をめざして『利用者本位』『尊厳の確保』の寄り添う介護をめざします」ですが日常的に確認できる様にする。	玄関入り口の左側壁板にイラスト入りの 判りやすい理念の掲示を行う。	明るく魅力とセンスあふれる理念が掲示できるよう、美術大学出身の管理者の家族に協力を求める。	1～2ヶ月
2	No.2No.5	運営推進会議だけ無く、地域に開かれたグループホームとして認識して頂く為にも認知症高齢者への理解。或は虐待についての見解や対応について理解をはかっていくことが求められる。	認知症の事をご理解頂く為に認知症サポーター養成講座の開催やグループホームやよいの見学会などを開き啓発に努める。又、身体拘束や虐待についての勉強会が持てる様にする。	コロナ禍が過ぎ落ち着いたところに地域社協や地域包括支援センターの協力を得てサポーター養成講座を開催する。虐待等についても条件を考慮しながら開催する。	数ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。